



常任委員会の審査報告

総務委員会

条 佐賀市立公民館条例

〔質問〕佐賀市立公民館館長会との意見交換会を開催したが、公民館の在り方が変わることに懸念を持つ館長が多数いた。現場との認識に食い違いはないか。

〔答弁〕昨年2月の公民館のあり方検討委員会からの提言後、合計8回、連絡会議等で内容や協議の進捗状況を説明してきた。

〔質問〕今後、若い方たちに公民館の利用を促していきたいとのことだが、若い方たちの利用は主に休日や夜間になると考えられる。公民館職員だけで対応できるのか。

〔答弁〕地域の団体等も一緒に関わって対応していく仕組みを考えていき



公民館のよりよい運用に向けて

委員会で審査した議案

- 令和7年度一般会計予算（所管分）
- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
- 佐賀市立公民館条例
- 職員の給与に関する条例等の改正
- 消防団員の退職報償金支給に関する条例の改正
- 市税条例の改正
- 佐賀市公民館条例の改正（諸富公民館関連）
- 佐賀県市町総合事務組合規約の変更

その他7件

たい。

〔質問〕利用率の高い公民館では、今後、営利目的の利用が認められることにより、予約がさらに取りにくくなるのではないか。

〔答弁〕地域の団体は1月初日から1年分の予約が優先的にできるという運用は変わらない。その他の団体は、現在の2カ月前の抽選予約から、1カ月前の先着順に変わることになり、地域の優位性はむしろ向上する。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。第20号議案について附帯決議案を全会一致で可決。

福祉教育委員会

当 図書館大規模改修事業

〔質問〕基本設計委託料の積算方法は。

〔答弁〕国の基準を準用しており、既存建物の安全性確認等の追加業務を見込んで算出している。

〔質問〕基本設計の委託先は4事業者による共同企業体とのことだが、業務発注のプロポーザル公募要件で、共同企業体の構成上の、特別な要件はあったのか。

〔答弁〕市内の事業者を代表または構成員に含む必要があった。

〔質問〕基本構想・基本計画の策定委員会委員が受託事業者の構成員になっている。他自治体ではプロポー



大規模改修を予定している市立図書館

委員会で審査した議案

- 令和7年度一般会計予算（所管分）
- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
- 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 国民健康保険税条例の改正
- 子どもの医療費の助成に関する条例の改正
- 佐賀市立図書館条例の改正
- 富士大和温泉病院事業の設置等に関する条例の改正

その他11件

ザルのガイドラインで、策定委員がプロポーザル参加企業体と利害関係を持たないなど、厳しい基準を定めている事例もあるが、市の考えは。

〔答弁〕市内事業者に幅広く参加してもらうために、法人格の要件を設けないとしたため、このような構成となっている。

〔質問〕今後、審査のプレゼンテーションを一般公開してはどうか。

〔答弁〕一般公開している自治体があることは把握している。今後の課題としたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

常任委員会では、本会議から付託された議案や請願などについて審査を行っています。
2月定例会での各委員会の主な審査内容を紹介します。

経済産業委員会

当 水草除去強化支援事業

〔質問〕水草が水稻の圃場に入らないように防除対策を徹底的に行う必要があるのではないか。

〔答弁〕水草の中でも、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウやブラジルチドメグサには、農家以外の市民も非常に困っている。何とか撲滅させたいが、全国的に見ても撲滅できるような手法がないのが現状である。そのような中、環境省や民間などが連携して、さまざまな取り組みが行われている。その内容は、ドローンやAIを活用した農薬散布による防除の検討や防除後、紫外線などで枯死させる技術の検討などである。これらの取り組みについて、佐賀市内でも実験的に行いたいと聞いてお



クレークに広がる水草

り、全面的に協力して、撲滅につなげていきたいと考えている。

〔質問〕特定外来生物対策の柱の中に、市民との連携とあるが、具体的にはどのようなものか。

〔答弁〕生産組合や自治会などに対し、特定外来生物の取り方や処理方法を説明し、早期発見・早期駆除の依頼を行うことで、市民との連携を図っている。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

委員会で審査した議案

- 令和7年度一般会計予算（所管分）
- 令和7年度自動車運送事業会計予算
- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
- 自動車運送事業会計補正予算（第2号）

建設環境委員会

当 交通モード最適化調査・分析事業

〔質問〕運転士不足の深刻化、高齢者等の移動の確保、路線バスの非効率な運行、公共交通空白地対策などを踏まえて、地域の実情に応じた交通体系の調査・分析を行うとのことだが、今後、地域ごとに行政からの提案が期待できるのか。

〔答弁〕特定の路線や地域で従来とは異なる交通の在り方が望ましいと判断した場合は、地域に対してアプローチをしていく。

〔質問〕行政は地域で交通の在り方を考えてもらいたいとする一方で、地域は行政が運営してくれるものだという、認識の違いが出てくると思う。この事業をどのように進めていくのか。



しゅんせつ
浚渫の様子

しゅんせつ
浚渫とは…河川や港などの水底をさ
らって土砂などを取り去る工事のこと

〔答弁〕課題として、行政がどこまで負担できるのかという点と、地域が主体となり得るのかという点がある。理想の姿を描いた上で、丁寧に説明しながら進めたい。

当 建設発生土仮置場実証事業

〔質問〕浚渫した土砂に石灰などを加えて再利用することだが、品質に問題はないのか。

〔答弁〕土砂の受け入れ先によって必要な強度が異なる。現場が求める基準を満たす強度の土砂になるよう改良した上で再利用する。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

委員会で審査した議案

- 令和7年度一般会計予算（所管分）
- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
- 市道路線の認定
- 財産の取得

その他7件